



防災カフェ

年末となり慌ただしい時期となりましたが、新年を気持ちよく迎えるため「大掃除をしなくては」と考えているかたも多いと思います。

大掃除のルーツは、新年を司る年神様を迎えるための神聖な行事である「すす払い」と言われ、年神様は、お正月にやってきて「生きる力」と「福德」を授けてくださると言われています。

「生きる力」と言えば、家庭で準備している備蓄品も生きるための大きな力となるものです。大掃除をする機会に、その備蓄品の確認も行っておきましょう。

まず備蓄品の保管場所ですが、物の転倒などで埋もれてしまうことがなく、いざという時に持ち出しやすい場所に保管しましょう。

非常食などは使用期限や賞味期限が過ぎてしまっていたり、期限間近なものがないか確認しましょう。定期的に消費して買い足すローリングストックを心掛けることで、期限切れを防ぐことができるとともに、非常食の味や食感に慣れたり、使用法の理解ができて災害時のストレス軽減にもつながります。冷凍庫などで保存している食材も非常食になりますので、庫内の整理もしておきましょう。

— 大掃除に合わせて 備蓄品の確認を —

またこの時期は寒さに備えることも重要です。大きな地震や暴風雪が発生すると電気やガスが止まり、暖房機具が使えなくなることもありますので、ポータブル暖房器具や防寒着(靴)、毛布、カイロなどもあらかじめ用意しておきましょう。車をよく運転されるかたは、これらを車に積んでおくと走行できなくなったときに安心です。

なお、必要な備蓄品は個々の状態で変化します。ご自身の状態に合った必要な備蓄品が確実にあるかどうか、大掃除に合わせて確認しておきましょう。

すす払いに清めの意味があるように、大掃除には有形無形のさまざまなものを払ってケジメをつける意味があります。備蓄品についても、使えないものや使うことができない状態にケジメをつけて、すっきりと気持ち良く新年を迎えましょう。



●詳細 危機対策係 ☎27-7058

救命サポートに活用できるエコバッグを作成

新型コロナウイルス感染症の拡大防止等を考慮し、「救急の日」市民健康教室を中止したところですが、本事業の一環として、芦別市医師会・芦別市及び滝川地区広域消防事務組合芦別消防署の共同により、救命サポートに役立つイラストを掲載したエコバッグを作成しました。

エコバッグに掲載されたイラストは、地域おこし協力隊の岩崎佳奈美さんにご協力いただいたもので、絵の中心上部にある「Push」の文字が描かれた北極星は、救命サポートが必要なかたにエコバッグをあわせると、心肺蘇生を行う心臓の位置の目安となるように描かれています。

数に限りがありますが、作成されたエコバッグは、普通救命講習（3時間）以上の救命講習を受講されたかたに配布する予定です。

●詳細 芦別市医師会 ☎23-0973

